

## 安全データシート

作成日：2001年05月01日

改定日：2022年05月25日

### 1. 製品及び会社情報

製品名：スプレーベルトワックス

会社名：鈴木油脂工業株式会社

住所：大阪府大阪市東淀川区下新庄 1-8-23

電話番号：06 (6326) 1118

FAX 番号：06 (6326) 0181

緊急連絡先：化成品事業部

電話番号：06 (6326) 1118

推奨用途及び使用上の制限：平及びVベルトの滑り止め

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

##### 【物理化学的危険性】

エアゾール	区分 1
引火性液体	区分 2

##### 【健康に対する有害性】

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分 4
皮膚腐食性／刺激性	区分 3
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分 3（気道刺激性、中枢神経系）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分 1（神経系）

##### 【環境に対する有害性】

水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 3

※記載のない危険有害性は、区分に該当しない。

#### GHS ラベル要素

##### 【絵表示又はシンボル】



#### 注意喚起語

##### 危険有害性情報

#### 危険

極めて可燃性の高いエアゾール  
高圧容器：熱すると破裂のおそれ  
引火性の高い液体および蒸気  
吸入すると有害  
軽度の皮膚刺激  
重篤な眼の損傷  
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
 呼吸器への刺激のおそれ  
 眠気およびめまいのおそれ  
 長期にわたるまたは反復ばく露による神経系の障害  
 水生生物に毒性  
 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。裸火または他の着火源に噴霧しないこと。使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。  
 容器を密閉しておくこと。熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。容器を接地しアースを取ること。防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。火災を発生しない工具を使用すること。  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
 保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。保護手袋を着用すること。  
 使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。個人用保護具を使用すること。  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 環境への放出を避けること。

【応急処置】

火災の場合： 消火に適切な手段を使用すること。  
 皮膚（又は毛）にかかった場合： 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。  
 皮膚刺激が生じた場合： 医師の診断／手当てを受けること。  
 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。  
 吸入した場合： 呼吸困難な場合には空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。  
 皮膚に付いた場合： 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 暴露又は暴露の懸念がある場合： 医師の診断／手当てを受けること。  
 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しいところで保管すること。  
 日光から遮断し、50°Cを超える温度にばく露しないこと。施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分名	CAS No,	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号	
				(化審法)	(安衛法)
石油系炭化水素	—	10~15	—	—	—

ロジン	8050-09-7	20~25	-	-	-
n-プロピルアルコール	71-23-8	10~15	C <sub>3</sub> H <sub>7</sub> OH	(2)-207	既存
イソヘキサン(以下の混合物)		2~5	C <sub>6</sub> H <sub>14</sub>	(2)-6	既存
2-メチルペンタン	107-83-5				
3-メチルペンタン	96-14-0				
2,2-ジメチルブタン	75-83-2				
2,3-ジメチルブタン	79-29-8				
ジメチルエーテル	115-10-6	45~55	C <sub>2</sub> H <sub>6</sub> O	(2)-360	既存

注意：上記記載の-は、不明又は非公開を示す。

4. 応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。水でうがいをする。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹸で洗い流すこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 多量の水または牛乳を飲ませ、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 応急措置をする者の保護： 火気に注意して、有機溶剤用防毒マスクを着用すること。

5. 火災時の措置

- 消火方法：消火剤の使用
- 小火災の場合： 二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤
- 大火災の場合： 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 作業の際は、適切な保護具（8.ばく露防止及び保護措置）の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。
- 環境に対する注意事項： 付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起ささないよう措置を講じること。
- 除去方法：
  - 少量の場合： 乾燥砂・土、不燃材料等で吸収させ、極力かき集めて密閉容器に回収する。
  - 大量の場合： 盛り土で囲って流出を防止して、安全な場所に導いてから回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
  - 取扱い・技術的対策： 適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用する。
  - 局所排気・全体換気： 局所排気、全体換気を行う。
  - 安全な取扱い上の注意事項： 皮膚、眼との接触を避ける。吸入又は飲み込んではいならない。取扱い後はよく手を洗う。
- 保管
  - 保管条件： 熱源、火花、裸火から離して、容器を冷所で換気の良いところで貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

成分名	管理濃度 (安衛法)	許容濃度		
		日本産衛学会	ACGIH(TLV-TWA)	ACGIH(TLV-STEL)
石油系炭化水素(鉱油ミストとして)	-	3mg/m <sup>3</sup>	5mg/m <sup>3</sup>	-
ロジン	-	-	-	-
n-プロピルアルコール	-	-	200ppm	400ppm
イソヘキサン	-	-	500ppm	1,000ppm

注意：上記記載の－は、設定されていないことを示す。

設備対策：	防爆構造の電気・換気・照明の使用。 空气中濃度をばく露以下に保つために全体排気による換気を行うこと。
呼吸器の保護具：	使用する際は有機溶剤用防毒マスク、送気マスクを着用すること。
手の保護具：	耐溶剤用保護手袋を着用すること。
目の保護具：	ゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：	保護面、耐溶剤性保護衣、耐油性長靴を着用すること。
衛生対策：	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

## 9. 物理的及び化学的性質 \*原液として

物理的状态、形状、色など：	褐色液体
臭い：	特異臭
pH：	データなし
沸点：	データなし
融点：	データなし
引火点：	-5°C
発火点：	データなし
爆発限界	
上限：	データなし
下限：	データなし
蒸気圧：	データなし
相対蒸気密度(空気=1)：	データなし
密度：	0.8(20°C)
溶解性：水	データなし
オクタノール/水分係数：	データなし
分解温度：	データなし
臭いのしき値：	データなし
蒸発速度：	データなし
燃焼性：	データなし
粘度：	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の使用条件で安定。 常温下での缶内圧は約0.41Mpa
反応性：	40°C以上になると破裂のおそれ。 静電気が発生すると、引火性爆発の危険性。 強酸化性物質との接触により、火災や爆発の危険性。
避けるべき条件：	高温・多湿
避けるべき材料：	強酸化剤
危険有害分解生成物：	一酸化炭素、二酸化炭素。

## 11. 有害性情報

急性毒性：				
石油系炭化水素	経口	ラット	LD <sub>50</sub>	>5,000mg/kg
	経皮	ラット	LD <sub>50</sub>	>5,000mg/kg
	吸入(ミスト)	ラット	LD <sub>50</sub>	218mg/L
ロジン	経口	ラット	LD <sub>50</sub>	7,800mg/kg
	経皮	ウサギ	LD <sub>50</sub>	2,500mg/kg
	吸入(粉塵)	ラット	LC <sub>50</sub>	1.5mg/L/6h
n-プロピルアルコール	経口	ラット	LD <sub>50</sub>	1,870mg/kg
	経皮	ウサギ	LD <sub>50</sub>	4,000mg/kg
イソヘキサン	経口	ラット	LD <sub>50</sub>	28,710mg/kg
皮膚腐食性・刺激性：	データなし			

眼に対する重篤な損傷・刺激性：	データなし
12. 境影響情報	
魚毒性：	データなし
生態毒性：	
n-プロピルアルコール	LC <sub>50</sub> 3,025mg/L(ミジノ/48h)
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物：	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装材料：	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合も都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物、ガスを完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際輸送分類	
※エアゾールとして	
国連番号：	1950
危険物船舶運送及び貯蔵規則上の分類：	有害物質 (エアゾール)
国連分類 (IMDG コード)：	クラス 2.1 引火性ガス (エアゾール)
IATA 危険物規則分類：	第2分類 ガス類クラス 2.1 引火性ガス (エアゾール)
国内規制	
陸上輸送 消防法：	消防法の規定に従う。
海上輸送 船舶安全法：	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送 航空法：	航空法の規定に従う
高圧ガス法	適用除外
15. 適用法令	
労働安全衛生法：	
n-プロピルアルコール	第57条の2 名称等を通知すべき有物質 引火性液体
イソヘキサン	第57条の2 名称等を通知すべき有物質 引火性液体
PRTR法：	非該当
消防法：	危険物 第4類第1石油類
船舶安全法：	危規則告示別表第1 高圧ガス エアゾール
航空法：	危規則告示別表第1 高圧ガス エアゾール
高圧ガス保安法：	可燃性ガス
16. その他の情報	
責任の限定について	
本製品安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。 また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途及び使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。	